

処方箋医薬品<sup>注)</sup>

日本薬局方

# 注射用水

## Sterile Water for Injection

貯法：室温保存

有効期間：20mLアンプル 3年

100mLボトル 3年

500mLバッグ 3年

500mL・1000mLボトル 5年

注)注意－医師等の処方箋により使用すること

許可番号	13A1X00008
販売開始	1953年4月

### 3. 組成・性状

#### 3.1 組成

成分	20mL中	100mL中	500mL中	1000mL中
注射用水	20mL	100mL	500mL	1000mL

#### 3.2 製剤の性状

性状	無色澄明の液
----	--------

### 4. 効能又は効果

注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤

### 6. 用法及び用量

本剤の適量を取り、注射用医薬品の溶解、希釈に用いる。

また、注射剤の製剤に用いる。

### 14. 適用上の注意

#### 14.1 全般的な注意

14.1.1 使用時には、感染に対する配慮をすること。

14.1.2 注射針や輸液セットのびん針は、ゴム栓の刻印部(凹部)に垂直にゆっくりと刺すこと。斜めに刺した場合、削り片の混入及び液漏れの原因となるおそれがある。また、針は同一箇所を繰り返し刺さないこと。

#### 14.2 薬剤調製時の注意

注射剤の溶解希釈剤として使用する場合は、注射用水が適切であることを確認すること。

#### 14.3 薬剤投与時の注意

##### 〈製剤共通〉

14.3.1 原則として、連結管を用いたタンデム方式による投与は行わないこと。輸液セット内に空気が流入するおそれがある。

14.3.2 容器の目盛りは目安として使用すること。

14.3.3 残液は使用しないこと。

##### 〈100mL・500mLプラスチックボトル製剤〉

14.3.4 通気針は不要であるが、薬液量が少なくなると排出速度が低下してくるので、滴下速度に十分注意すること。

### 18. 薬効薬理

#### 18.1 作用機序

本剤は注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤として用いる。

### 20. 取扱い上の注意

20.1 液漏れの原因となるので、強い衝撃や鋭利なものとの接触等を避けること。

20.2 以下の場合には使用しないこと。

- ・外袋内や容器表面に水滴や結晶が認められる場合
- ・容器から薬液が漏れている場合
- ・性状その他薬液に異状が認められる場合
- ・ゴム栓部のシールやキャップがはずれている場合

### 22. 包装

20mL[50管(プラスチックアンプル)]

100mL[10本(プラスチックボトル)]

500mL[20本(プラスチックボトル)]

500mL[20本(プラスチックボトル広口開栓型)]

500mL[20本(プラスチックボトル細口開栓型)]

500mL[20袋(ソフトバッグ)]

1000mL[10本(プラスチックボトル広口開栓型)]

1000mL[10本(プラスチックボトル細口開栓型)]

### 24. 文献請求先及び問い合わせ先

光製薬株式会社 医薬情報部

〒111-0024 東京都台東区今戸2丁目11番15号

TEL 03-3874-9351

FAX 03-3871-2419

### 26. 製造販売業者等

#### 26.1 製造販売元

光製薬株式会社

東京都台東区今戸2丁目11番15号